

VREC-DS500DC

取扱説明書

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やけがの原因となる場合があります。この場合は、弊社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いません。

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>
「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用下さい。(通話料がかかります) 正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

■電話 《カーオーディオ／カーナビゲーション商品》
【固定電話から】 **0120-944-111** (無料)
【携帯電話・PHSから】 **0570-037-600** (ナビダイヤル・有料)
上記の電話番号がご利用いただけない場合
050-3820-7540 (IP電話・有料)

■ファックス **0570-037-602** (ナビダイヤル・有料)

■インターネットホームページ <https://jpn.pioneer/ja/support/>
※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

修理受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

■電話 【固定電話から】 **0120-5-81028** (無料) 【携帯電話・PHSから】 **0570-037-610** (ナビダイヤル・有料)
上記の電話番号がご利用いただけない場合
050-3820-7550 (IP電話・有料)

■ファックス **0120-5-81029** (無料)

■インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/purpose/repair/>
※インターネットによる修理のお申し込みを受け付けております。

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.09

パイオニア株式会社
〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート
©パイオニア株式会社 2020
< KYTZ19K > < CYR1255-D >

安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	危険	「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」です。
	警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
	注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	注意 (警告を含む) しなければならない内容です。		必ず行っていただく強制の内容です。
	禁止 (やってはいけないこと) の内容です。		

接続・取り付け

警告

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない。
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで製品や部品が飛ばされ死亡事故の原因になります。
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、保安部品 (ステアリング、ブレーキ、タンクなど) のボルトやナットを使用しない。
制御不能や発火、交通事故の原因となります。
視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない。
交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない。
電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

本機は、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない。
視界不良や本機がはがれて、事故の原因となります。

DR-003-001

車両メーカーが指定する禁止エリアや車両の操作を妨げる位置に、取り付けや配線をしない。
カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。車両メーカー、カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

説明書に従って接続・取り付ける。
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。
コード類は運転操作を妨げないように引き直し固定する。
ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと、事故の原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認し、干渉しないように取り付ける。
穴あけドリル等がパイプ類、タンク、電気配線などと干渉すると、火災、故障の原因となります。
付属の部品を使用し、固定する。
付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げになり、事故やケガの原因となります。

取り付けと配線が終わったら、車の電装品が正常に動作するか確認する。
正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。
車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する。
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

取り付け場所の汚れ (ごみ、ほこり、油) などを取り除き、しっかりと取り付ける。
走行中に外れ、交通事故やケガの原因となります。乗車時に取り付け状態 (接着やねじのゆるみなど) を点検してください。

注意

本機を不安定なところに取り付けられない。
落下などによる事故やケガ、故障の原因となります。
コード類は途中で切断しない。
コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が動かなくなり、火災の原因となります。

コード類の配線は、車体の高温部・金属部・可動部に接触させない。
断線やショートによる火災や感電の原因となります。

ヒーターの吹き出し口の近くに設置しない。製品の通風口、放熱板を塞ぐ場所には設置しない。
熱風が直接当たったり、放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。

水のかかるところや結露、ほこり、油煙の多いところに取り付けない。
発煙や発火、故障の原因となります。

使用方法

危険

本製品はリチウムイオン電池を内蔵しています。
液体で濡らさない。
分解しない。
指定以外の方法で充電しない。
火の中へ投入、加熱をしない。
火のそばや炎天下など高温の場所で放置をしない。
発熱・発火・破裂の原因となります。

警告

内蔵電池に強い衝撃を加えない。
変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因となります。
運転者は走行中に操作をしない。
前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

画面だけを見ながらの運転はしない。
必ず目視による安全確認を行いながら運転してください。距離感の違いとカメラの死角により人や物にぶつかるおそれがあり、思わぬ事故の原因となります。

大きな音量で使用しない。
警告音など車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

電池・ネジなどの小物部品は乳幼児の手の届くところに置かない。
誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

液体で濡らさない。
発煙、発火、感電の原因となります。

分解や改造をしない。
交通事故や火災、感電の原因となります。

ぶら下がったり、押したり引っ張ったりして、力を加えたりしない。
ケガや車両の変形および故障の原因となります。

液漏れした電池には直接触らない。
ケガや周囲を汚染する原因となります。万が一皮膚や衣服に付着した時は、きれいな水で洗い流してください。目に入った時は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。

画面が映らない、音が出ない、音声割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない。
思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを守る
「充電式電池リサイクルご協力をお願い」をご覧ください。
実際の交通規制に従って走行する。
ルート案内が実際の交通規制に反している場合があり、交通事故の原因となります。

注意

本機は自動車用途以外で使用しない。
発煙や発火、感電やケガの原因となります。
本機の上に重いものを乗せたり、乗ったりしない。
落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない。
故障や火災の原因となります。
キャッシュカードなどを本機に近づけない。
磁気データが消去されることがあります。
運転者は運転中に画像を注視しない。
前方不注意となり交通事故の原因となります。

車両から乗り降りするときなどは、製品に頭部をぶつけないように注意する。
ケガの原因となります。

温度の上昇に注意する。
本機は、環境や使用状況によって温度が上昇する場合があります。ケガや事故の原因となることがありますので、ご注意ください。

異常時の問い合わせ

警告

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店がサービス相談窓口にご相談する。
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

この製品の保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。

保証期間

修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。（お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。）

保証期間中の修理

について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

連絡先については、弊社ホームページをご覧ください。

保証期間経過後の

修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

車からの脱着

（お取り外し・お取り付け）について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません（保証期間内含む）。販売店、または取付店にご相談ください。

補修性能部品の

最低保有期間

弊社は、本機の補修用性能部品の、製造打ち切り後最低 6 年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

使用上のご注意

⚠ 本機取り扱いに関するご注意

- 運転者は走行中に再生操作や設定操作などしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。
- ドライブレコーダーの各機能は、設定・設置状況・microSD カードの状態・走行環境（路面状況など）の影響により、正しく作動しない場合があります。

録	連続録画ファイル保存領域
	イベント録画ファイル保存領域
	駐車監視録画ファイル保存領域
	写真ファイル保存領域

- ダッシュボード上に明るい色のものを置くと、フロントガラスに反射してカメラ映像に映り込む場合があります。ダッシュボード上には明るい色のものを置かないでください。
- 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機は全ての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機で撮影できる範囲（→「仕様」）には限界があります。予め記録される映像で確認の上ご使用ください。
- 60℃以上の高温または-10℃以下の低温、および湿度の高い場所では本機を使用しないでください。
- 本機で撮影した映像を取り扱う際は、被写体のプライバシーなどを侵害しないよう十分にご配慮ください。また、お客様の責任でお取り扱いください。本機で撮影した映像には、車両ナンバーなどの個人情報が含まれる場合があります。
- 天候や時間帯等の周囲の状況によっては、車両前方の状況を正しく認識できない場合があります。
- LED 式信号機や道路上の街灯などを撮影すると、信号機や街灯が点滅しているように撮影されたり、ちらついたりする場合があります。また、色が識別できない場合があります。これらの場合については弊社は一切の責任を負いません。
- 本機は G センサー（加速度センサー）で衝撃（加速度）を検知して事故発生前後の映像を記録しますが、全ての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 購入直後など十分に充電されていない状態で、本機への電源供給が止まった場合（車のエンジンをオフ）、撮影時間が短くなったり、撮影できないことがあります。
- 充電時には必ず付属の電源ケーブルを使用してください。

- 各ファイル保存領域の空き容量が足りなくなると、上書き保存されますのでご注意ください。残しておきたい大切なファイルがある場合は、バックアップすることをお勧めします。→「撮影したファイルのバックアップ」
- 動画ファイルはお手持ちのパソコンでも再生できます。ただし、パソコンの性能によっては、映像の再生がコマ落ちしたり止まったりすることがあります。
- カーナビゲーションなど GPS を使用する機器を本機の近くでお使いの場合、電波障害の影響で、一時的に GPS 衛星の電波を受信できなくなる場合があります。また、周辺機器の機能にも何らかの影響を及ぼす可能性があります。
- 内蔵バッテリーは消耗品です。充電を繰り返すと、少しずつ駐車監視中の動作時間が短くなります。使用時間が短いと感じた場合は、弊社修理窓口にご相談ください。
- レンズ部を手で触らないでください。触ってしまった場合は、柔らかい布で拭いてください。
- 本機はスマートフォンなどの通信機器から 30 cm 以上離して設置してください。近くに設置すると、本機の動作に影響がでる場合があります。

⚠ microSD カードの取り扱いに関するご注意

- 本機は、microSDHC/SDXC カード（16 GB ~ 128 GB、Class10）に対応しています。全ての microSD カードの動作を保証するものではありません。
- microSD カードは本機でフォーマットしてご使用ください。また、カード内にパソコンなどで他のデータを入れずにご使用ください。
- 安心してご使用していただくためには、1 ~ 2 週間に一度フォーマットしてください。フォーマットを行わないと、録画できなくなる場合があります。

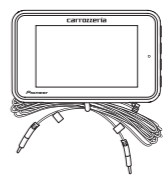
- microSD カードへのアクセス中は、microSD カードを抜かないでください。ファイルやカード自体が破損する恐れがあります。
- microSD カードは普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。

- **microSD カードの寿命は保証対象外となります。**
- microSD カードは消耗品です。定期的に新品への交換を推奨いたします。長期間使用すると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合や、microSD カードがエラーになり使用できなくなる場合があります。
- microSD カードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- お持ちのパソコンで認識している microSD カードが、まれに本機で認識しない場合があります。この場合、microSD カードの不具合によっては、本機のフォーマット機能でフォーマットすることにより認識する場合があります→「システム」の「SD カードフォーマット」。ただし、フォーマットした場合は、microSD カードに記録された保護ファイル

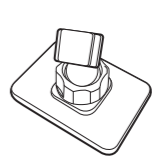
も含めた全てのファイルが消失します。フォーマットの際は、必ず microSD カードファイルのバックアップを作成してから行ってください。

- フォーマット作業による microSD カードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。また、本作業により microSD カードのファイル消失並びに、その他損害が発生した場合は、弊社として責任を負えません。お客様の判断・責任のもとでフォーマット作業は実行してください。
- 本機の microSD カードをフォーマットしても、録画することが難しい場合は、専用フォーマットソフトでフォーマットを行った microSD カードを使用することを推奨いたします。専用フォーマットソフトについては SD アソシエーションホームページでご確認ください。
- microSD カードをフォーマットをしても不具合が改善されない場合は microSD カードが消耗している可能性があります。新しい microSD カードでお試してください。

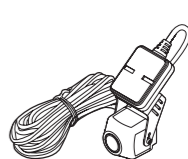
付属品を確認する



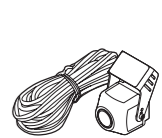
ドライブレコーダー 本体× 1



ドライブレコーダー 本体用ブラケット× 1



フロントカメラ× 1
GPS アンテナ× 1



リアカメラ× 1



GPS アンテナ用
両面テープ（予備）× 1



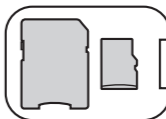
カメラ用
両面テープ（予備）× 1



六角レンチ× 1



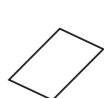
電源ケーブル× 1



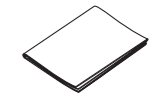
動作確認用 microSDHC
カード
(16 GB) × 1



取扱説明書× 1



保証書× 1



クリーナークロス× 1

本書の見かた

表記	意味
	取り扱いで注意していただきたいことや、本機の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて、説明しています。
	操作する上でのヒントや、機能に関する補足について説明しています。
[○○]	画面に表示される選択項目を表します。
→「○○○○」	参照していただきたい箇所や設定項目を表します。

- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書では、microSDHC/SDXC メモリーカードを、便宜上「microSD カード」と表記しています。

取り付けの前に知ってほしいこと

警告

●エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には絶対に取り付けないでください。エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。

注意

●エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。

●必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。

●必ず車両の備品および運転に支障のない場所に本機を取り付けてください。

取り付け上のご注意

●保安基準に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。

*保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条及び細目を定める告示第195条をいいます。

●フロントカメラを取り付けるときは、必ずフロントガラスの指定の位置・寸法内に取り付けてください。

●リアカメラをリアガラスに取り付けるときは、以下の点にご注意ください。

- 熱線がある場合は、熱線を避けて取り付け。
- リアワイパーがある場合は、ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付け。
- ハイマウントストップランプからできるだけ離して取り付け。

取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

●まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

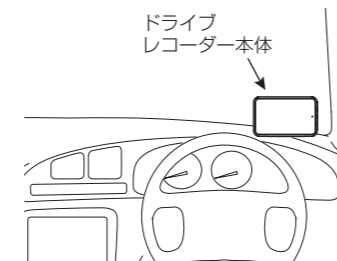
両面テープを貼り付ける前に

●両面テープを貼り付けるところは、汚れをよく拭きとってください。

本体の取り付け

1 付属のクリーナークロスで取り付け部分の汚れ・油などを取り除きます

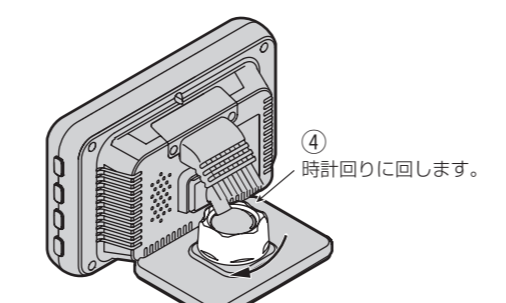
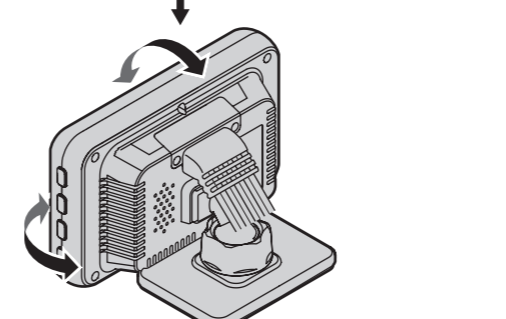
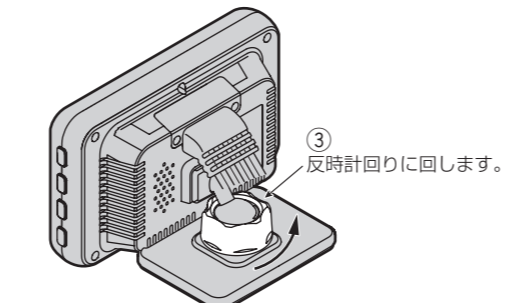
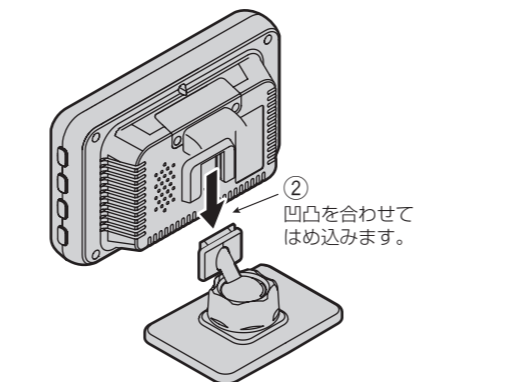
推奨取り付け位置



- 運転手の視界を妨げる場所、運転操作の妨げになる場所、エアバッグの動作の妨げになる場所には、絶対に取り付けないでください。交通事故の原因となります。
- ドライブレコーダー本体をフロントガラスに取り付けしないでください。

2 ドライブレコーダー本体を取り付けます

- ①ドライブレコーダー本体用ブラケットの底面の両面テープはくり紙をはがして、車のダッシュボードにしっかりと固定します。
- ②液晶パネル部をドライブレコーダー本体用ブラケットに取り付けます。
- ③ボールジョイント調整用ナットを反時計回りに回して、液晶パネル部分の角度を調整します。
- ④角度が決まったら、ボールジョイント調整用ナットを時計回りに回して固定します。



注意

- 本体を取り付ける場所は、できるだけ平滑で凹凸が少なく水平な場所を選んでください。曲面や垂直面では正しく取り付けられないため、本体が落下する場合があります。
- 本体を固定するブラケットの両面テープにストレスが加わるように本体からのケーブルを配線すると、両面テープがはがれる恐れがあるので、ストレスが加わらないように配線をしてください。
- ダッシュボードの表面が乾いてから貼ってください。
- ドライブレコーダー本体用ブラケットの両面テープは非常に強い粘着力を持っており、一度貼り付けると貼り直しは困難なため、十分ご注意ください。
- 液晶モニターの表面は絶対に押さないでください。
- 粘着テープの取付強度を確保するため、取付後 24 時間以上放置してから使用してください。
- ボールジョイント調整用ナットは、振動等で緩む場合があります。定期的に確認し、締め直してください。
- 本体には、G センサーが搭載されています。なるべく、本体（液晶モニター）を水平、垂直に調整し、固定してください。

はがれないようにしっかり取り付ける

！正しく取り付けられていないと、走行中にはがれて事故の原因になります。ときどき点検してください。

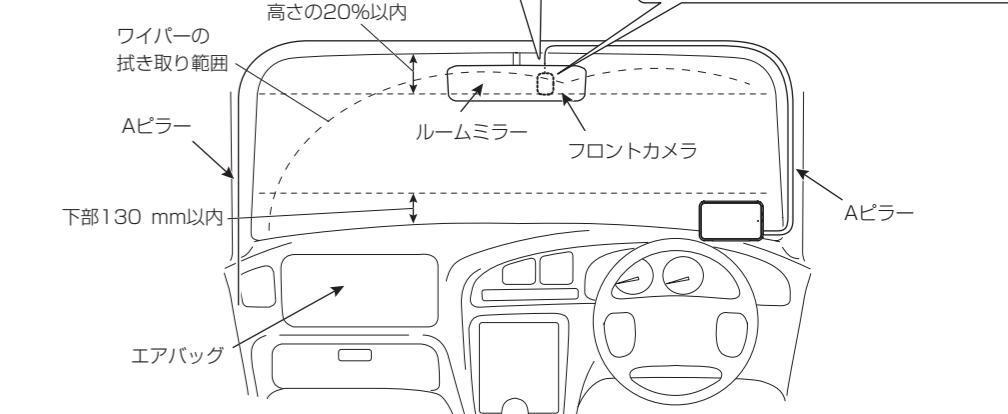
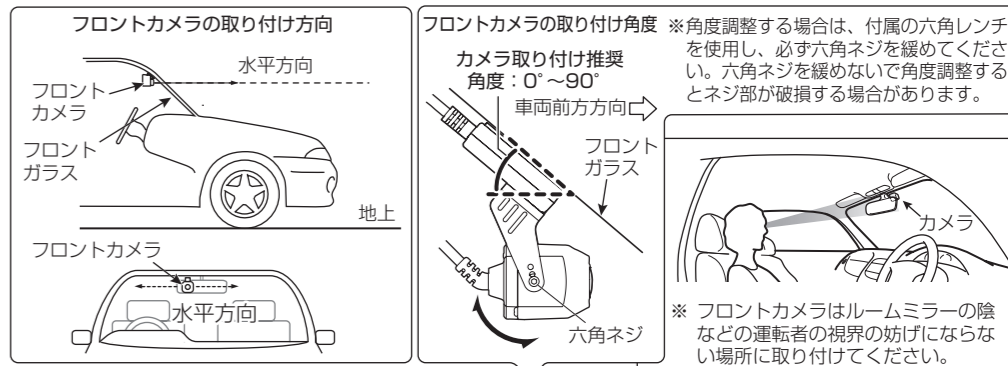
メモ

●お買い上げ時は、保護フィルムが貼られています。はがして使用してください。

カメラの取り付け

フロントガラスへの取り付け指定位置

- フロントカメラは、以下の条件を全て満たす車両および位置に取り付けてください。
- フロントガラスの高さの上縁から 20% 以内の位置（ウエザ・ストリップ、モール等と重なる部分およびマスキングが施されている部分を除く実長の 20% 以内の範囲）あるいは、運転席から見てルームミラーの陰に隠れる位置 また、下部 130 mm 以内の位置
 - フロントカメラのレンズ部分がワイパーの拭き取り範囲内に入る位置
 - フロントカメラのレンズ部分がサンシェードやクロセラライン・クロセラパターンにかからない位置
 - 車検ステッカーと重ならない位置
 - フロントカメラが前方および左右に対して水平方向を向く位置
 - フロントカメラのケーブルが無理なく引き回せる位置
 - 取り付け後にフロントカメラの両側面にある六角ネジが回せる位置（六角ネジを緩め、上下の角度を調整するため）



必ずお守りください

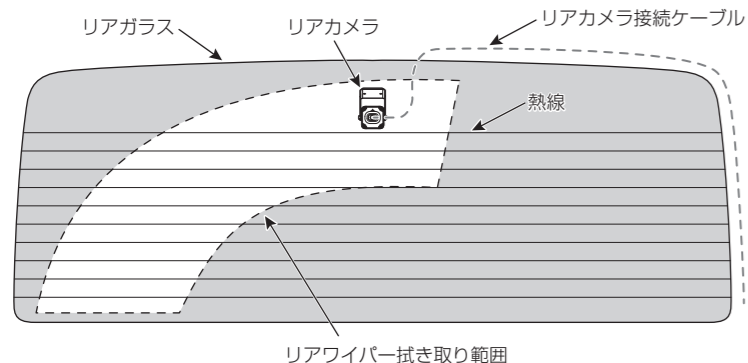
運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず「フロントガラスへの取り付け指定位置」に取り付けてください。指定位置以外に取り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。

カメラの取り付け

リアガラス取り付け推奨位置

リアカメラをリアガラスに取り付ける場合、以下の条件を全て満たす車両および位置への取り付けを推奨します。

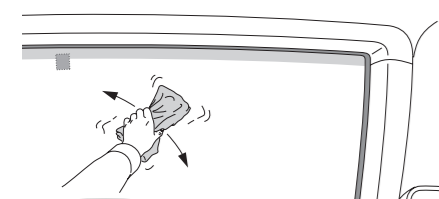
- リアカメラのレンズ部分がワイパーの拭き取り範囲内に入る位置
- リアカメラが後方および左右に対して水平方向を向く位置
- 両面テープが熱線と重ならない位置
- 付属のリアカメラ接続ケーブルが無理なく引き回せる位置



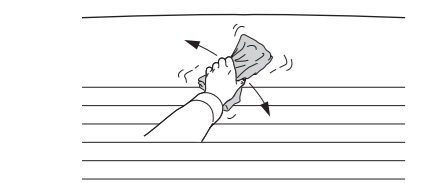
リアワイパー拭き取り範囲

1 付属のクリーナークロスで取り付け部分の汚れ・油などを取り除きます

■ フロントガラス



■ リアガラス



2 カメラを取り付けます

GPS アンテナまたは取付ブラケットの両面テープはくり紙をはがして、ガラスの指定位置に取り付けます。

■ フロントガラス

→「フロントガラスへの取り付け指定位置」

■ リアガラス

→「リアガラス取り付け推奨位置」

GPS アンテナまたは取付ブラケットを指でしっかりと押し付けて、確実に取り付けください。



※角度調整する場合は、付属の六角レンチを使用し、必ず六角ネジを緩めてください。六角ネジを緩めないで角度調整するとネジ部が破損する場合があります。



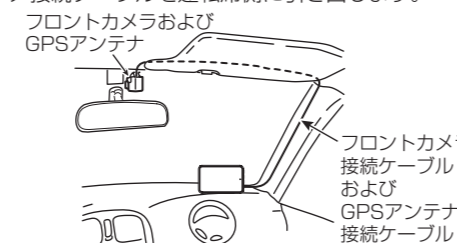
- ガラスの表面が乾いてから貼ってください。
- 取付ブラケットの両面テープは非常に強い粘着力を持っており、一度貼り付けると貼り直しは困難なため、十分ご注意ください。
- 粘着テープの取付強度を確保するため、取付後 24 時間以上放置してから使用してください。

はがれないようにしっかり取り付ける

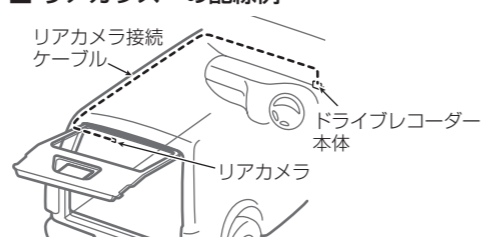
正しく取り付けられていないと、走行中にはがれて事故の原因になります。ときどき点検してください。

3 付属のケーブルを引き回したらドライブレコーダー本体とカメラを接続します

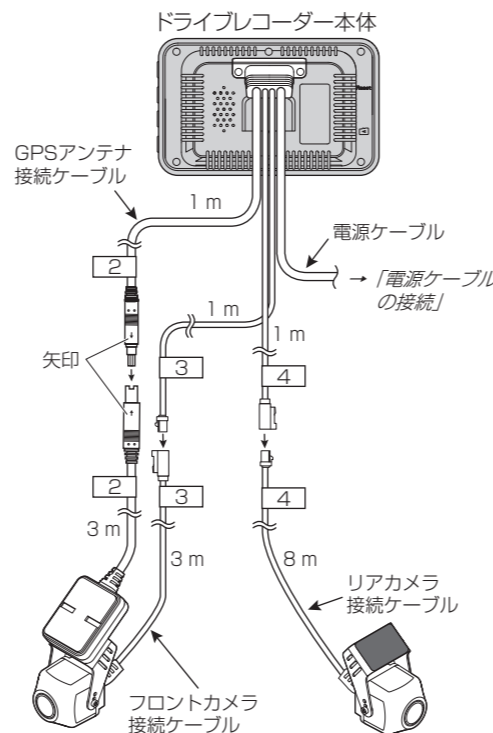
フロントカメラ接続ケーブルおよび GPS アンテナ接続ケーブルを運転席側に引き回します。



■ リアガラスへの配線例



リアドアの開閉の妨げにならないように配線してください。

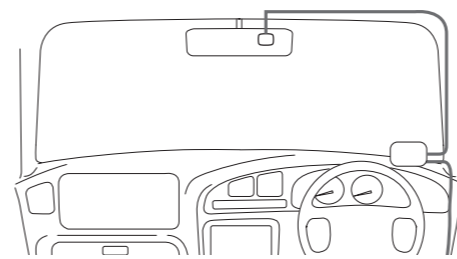


同じ番号のラベルの付いたケーブル同士を接続してください。

GPS アンテナ接続ケーブルのコネクターは、矢印の位置を合わせてからしっかりと奥まで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、コネクターの矢印の位置を確認してください。(無理に挿入すると故障の原因となる場合があります。)

⚠ フロントカメラおよびリアカメラの両方を正しく接続しないと正しく起動できません。

4 電源ケーブルを運転席側に引き回します



5 電源ケーブルを接続します

→「電源ケーブルの接続」

6 車のエンジンをかけて撮影画面を表示します

7 車外の映像が適切に表示されるようにレンズの角度を調整します



両側面の六角ネジを緩め、カメラが水平方向になるよう上下の角度を調整して六角ネジを締めます。六角ネジは、緩みのないようしっかりと締めてください。



- 六角ネジの締め付けすぎに注意してください。無理な力を加えると、六角ネジが破損する原因になります。
- 六角ネジを緩めないで角度調整するとネジ部が破損する場合があります。

■ メモ

- お買い上げ時は、保護フィルムが貼られています。はがして使用してください。

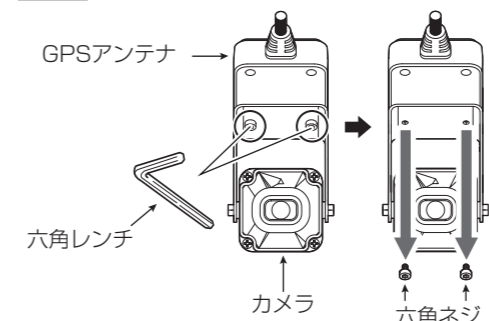
GPS アンテナをダッシュボードに取り付ける場合

カメラ取り付け位置では GPS が正しく受信できない場合は、GPS アンテナを取り外してダッシュボードに取り付けてください。

■ メモ

- GPS アンテナを逆向きに取り付けると、GPS 感度が悪化します。GPS アンテナのネジ穴を常に下向きになるように取り付けてください。

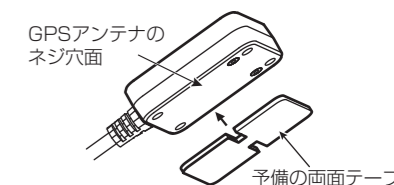
1 付属の六角レンチで六角ネジを回してカメラから GPS アンテナを取り外します



⚠ 六角ネジを回す方向に注意してください。締め付ける方向に無理な力を加えると、六角ネジが破損する原因になります。

2 予備の両面テープで GPS アンテナを固定します

予備の両面テープを GPS アンテナのネジ穴面に貼り付けてください。予備の両面テープ側を下にして、ダッシュボードに貼り付けます。周りに建物などがいないところで GPS の信号が受信できるか確認してから貼り付けてください。→「ステータス表示について」



■ メモ

- 両面テープは非常に強い粘着力を持っており、両面テープを剥がす場合には、市販のシール剥がしなどで剥がしてください。

車外へ取り付ける場合

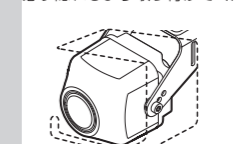
カメラを車外へ取り付ける場合は、以下の注意事項をよくご確認ください。

⚠ 車外取り付け上のご注意

- 本製品のカメラを指定通り正しく取り付けないと「道路運送車両の保安基準」に適合しない場合があります。
※道路運送車両の保安基準とは「道路運送車両の保安基準第 18 条及び細目を定める告示第 178 条」をいいます。
- 図を参考に、カメラブラケットやカメラ後部が車両に隠れるようにリアガーニッシュやリアスポイラーなどの下面に取り付けてください。
- 自動洗車機、または高圧力の水で洗車は行わないでください。カメラ内に水が入ったり、カメラが落下する恐れがあります。
- カメラレンズ表面や本体が凍結した場合にライターなどで加熱しないでください。故障の原因となります。
- リアガラスへは取り付けしないでください。
- 雨や霧の中では取り付け作業を行わないでください。
- カメラをフッ素樹脂加工処理された車体やガラス、ワックスの付いた場所に取り付けしないでください。カメラが落下する恐れがあります。
- カメラを貼り付け直さないでください。
- カメラに無理な力を加えないでください。
- 取り付け後、24 時間以内は次のことを守ってください。
・水をかけない。
・雨に濡らさない。
- ケーブルを伝って雨水などが車内に侵入しないよう、防水処理を行ってください。
- 走行時、カメラに直接風が当たる場所には取り付けしないでください。
- 角度調整ネジが緩んでいないか定期的に点検してください。



カメラ後部(破線部分)が必ず隠れるよう取り付けてください。



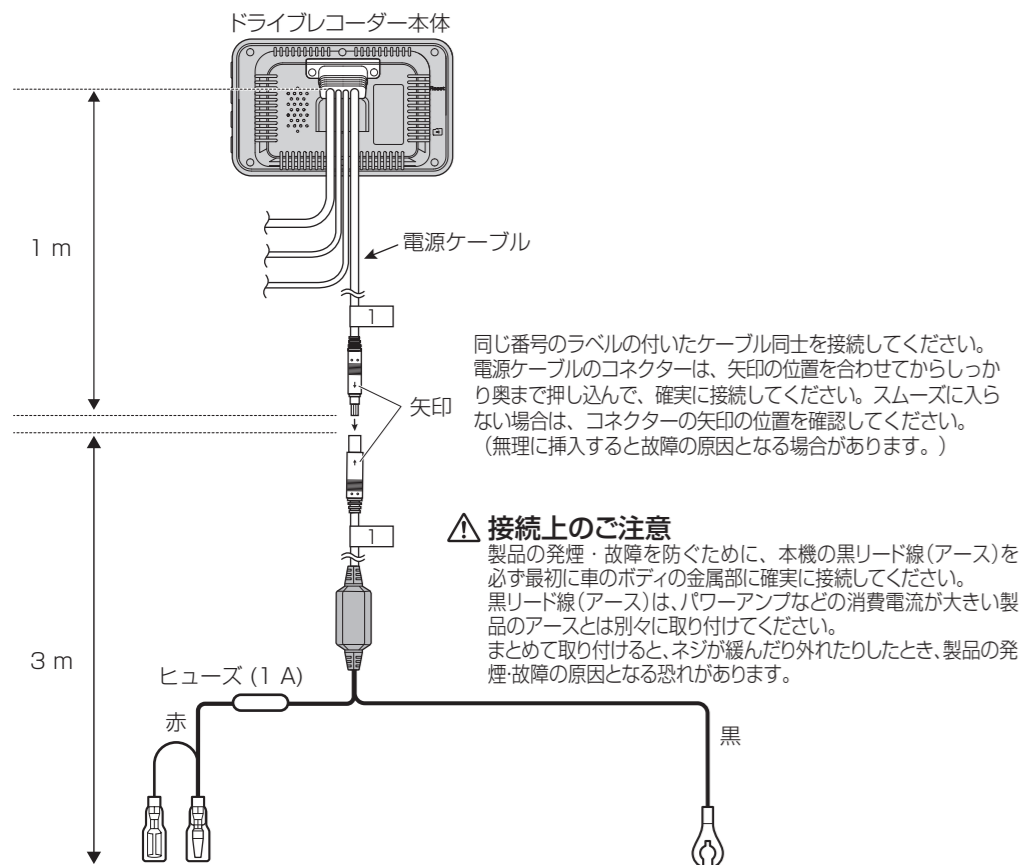
- ナンバープレートのナンバーがカメラで隠れないように注意してください。



電源ケーブルの接続

—電源ケーブルの接続は、必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください—

電源ケーブルの接続



ヒューズ (1 A)

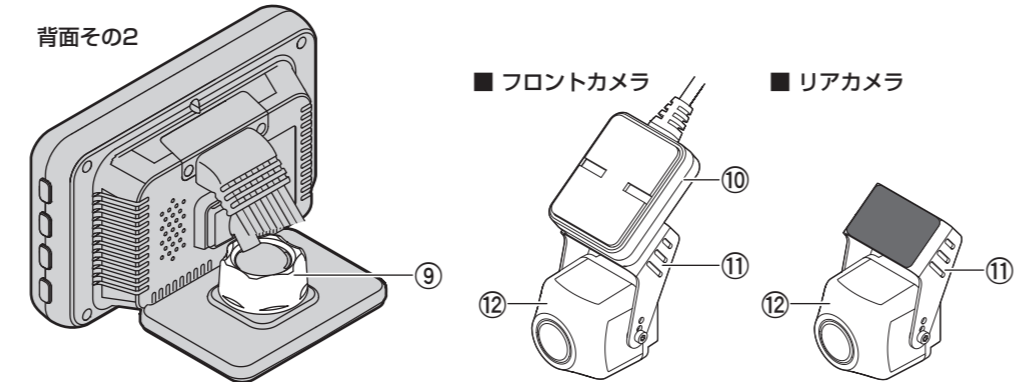
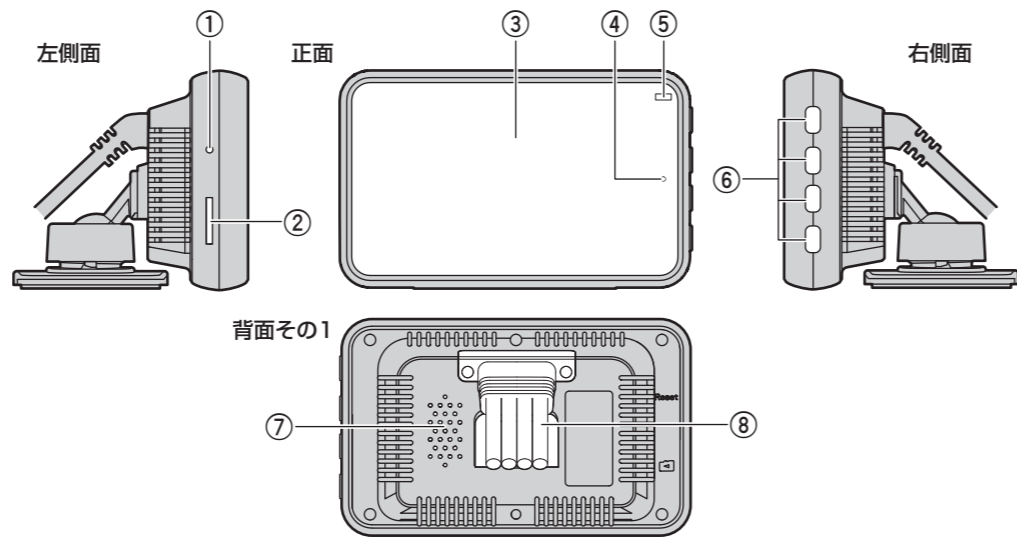
赤

黒

⚠ ヒューズが切れているときは、新しいミニ管ヒューズ (直径 5.2 mm / 長さ 20 mm) に交換して、先端部をしっかりと締めます。必ず規定タイプ、容量のヒューズ (F 1 AL/250 V、1 A/250 V) と交換してください。

各部の名称

■ ドライブレコーダー本体



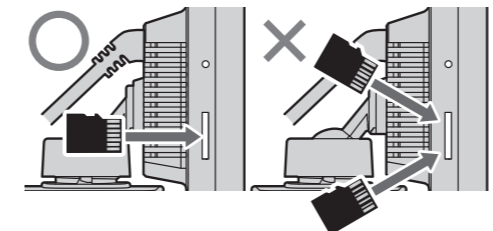
- ① リセットボタン
ボールペンの先などで押し、本機をリセットできます。
- ② microSD カードスロット
- ③ 液晶モニター
- ④ マイク
- ⑤ システムインジケーター
- ⑥ ファンクションボタン
- ⑦ スピーカー
- ⑧ 接続ケーブル
電源、GPS アンテナ、フロントカメラ、リアカメラの各ケーブルを接続します。
- ⑨ ボールジョイント調整用ナット
回して、液晶モニター部の角度を調整することができます。
- ⑩ GPS アンテナ
取り外し可能です。
- ⑪ 取付ブラケット
- ⑫ カメラユニット
映像を撮影します。

microSD カードの入れかた・取り出しかた

microSD カードを出し入れする際は、必ず本機の電源をオフにしてください。→「**■ 手動で電源をオン/オフする**」

microSD カードを挿入する

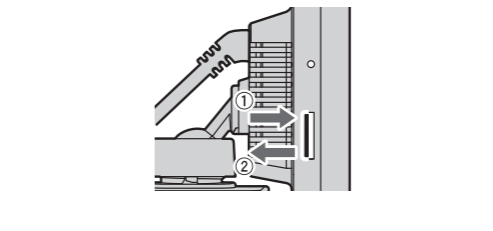
microSD カードの端を持ち、ラベル面を本機の背面側に向けてゆっくりと「カチッ」と音がするまで microSD カードスロットに挿入します。



⚠ microSD カードを斜めに挿入したり、挿入方向以外の方向に押ししたりしないでください。破損の原因になります。

microSD カードを取り出す

microSD カードの上端をゆっくりと「カチッ」と音がするまで内側へ押し (①)、ロックを解除してから取り出します (②)。



⚠

- ロックを解除してすぐに指を離すと、microSD カードが飛び出す可能性がありますのでご注意ください。
- 本機の電源をオフにした直後は、microSD カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- 正しく抜かれない場合 SD カードまたはデータが破損する原因になります。

メモ

- 録画中に microSD カードを不正に抜いた場合、本機は一度シャットダウンします。

撮影したファイルのバックアップ

各ファイル保存領域の空き容量が少ない場合は古いファイルから削除されます。残しておきたい大切なファイルがある場合は、次の方法でバックアップすることをお勧めします。

メモ

- 事前に予備の microSD カードを用意してください。

1 microSD カードを差し換えます

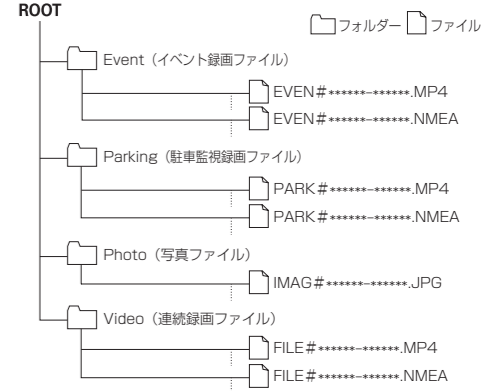
安全な場所に停車し、本機の電源を必ずオフにしてから microSD カードを取り出して、予備の microSD カードと差し換えてください。

2 パソコンにファイルをコピーまたは移動します

必要に応じて SD カードアダプターを使用し、microSD カードをパソコンへ挿入します。バックアップしたい録画または写真ファイルをパソコン内の適切な場所へコピーまたは移動してください。

フォルダーやファイルの構成について

microSD カード内のフォルダーやファイルの構成は下図の通りです。



メモ

- # には、フロントカメラ「M」またはリアカメラ「E」を示す符号が自動的に付与されます。
- *****-***** には、年月日 - 時分秒が自動的に付与されます。
- ACC OFF 後の動作設定内容により、記録される映像の保存先は以下となります。
「すぐにシャットダウン」に設定:
 ACC OFF 後に衝撃を検知した場合、駐車監視録画ファイルとして「Parking」フォルダーに保存されます。
「連続録画を継続」に設定:
 ACC OFF 後は、連続録画ファイルとして「Video」フォルダーに保存されます。
 連続録画中に衝撃を検知した場合、イベント録画ファイルとして「Event」フォルダーに保存されます。
 →「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」 - 「ACC OFF 後の動作設定」

ドライブレコーダーの使いかた

必ず安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。

本機の電源について

本機は、車のエンジンをオン (ACC ON) にすると起動し、自動的に録画を開始します。(連続録画機能) → 「ドライブレコーダーの使いかた」の「連続録画機能について」

■ 手動で電源をオン / オフする

本機の電源を手動でオン / オフすることができます。

撮影画面でファンクションボタンの を3秒以上押しと電源がオフになります。再度、一番上のファンクションボタンを押すと電源がオンになります。

■ 充電時間の目安

残量がない電池の場合、約3時間です。

■ メモ

- 内蔵バッテリーは高温または低温時には安全のため、充電を中止します。

システムインジケータ表示について

本機の動作状態をシステムインジケータで表します。

システムインジケータ	メニュー表示中 / 再生中	連続録画中	イベント / 駐車監視録画中	エラー時 (microSD カード未挿入を含む)
緑点灯	—	○	—	—
赤点灯	—	—	○	—
赤点滅	—	—	—	○

※本機の起動時、またはファームウェアのバージョンアップ時は赤点灯します。

※フロントカメラおよびリアカメラが正しく接続されていないと、本機起動時に赤点灯したままになります。

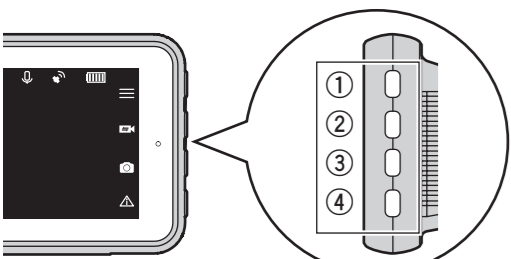
ファンクションボタンについて

ファンクションボタンの機能は画面下部に表示されるアイコンで表示されます。

各ボタンの機能は表示されている画面により異なります。(アイコンが表示されない画面もあります。)

再生画面や MENU 画面では、ファンクションボタンの を押しと一つ前の画面に戻ります。

■ 録画中

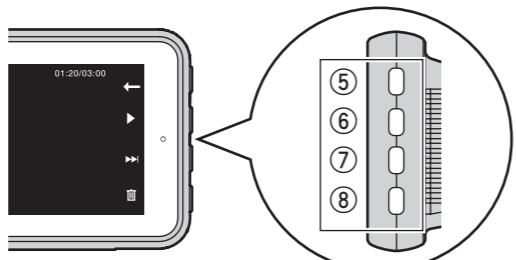


- ① メインメニュー表示
- ② カメラ映像の切り換え
押すたびに下記のように切り換わります。
フロントカメラの映像 + リアカメラ映像の小画面
- ③ 写真撮影
- ④ 手動イベント録画

■ メモ

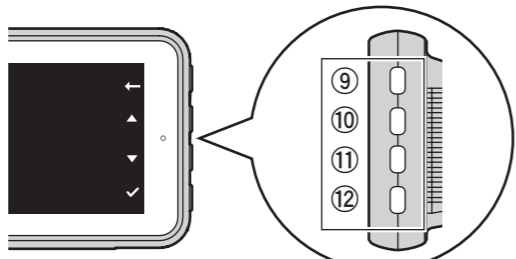
- 画面オフの状態です車のエンジンをオフ (ACC OFF) にしたときは、次回車のエンジンをオン (ACC ON) にしたときに時計が表示されます。

■ 再生中



- ⑤ 戻る
- ⑥ 再生する / 一時停止する
- ⑦ 早送りする
- ⑧ ファイルを削除する

■ MENU 画面表示中



- ⑨ 戻る
- ⑩ 上へ *
- ⑪ 下へ *
- ⑫ 決定

※音量や感度の MENU 画面を表示している場合は、音量や感度を高くするまたは低くします。

ステータス表示について

本機の動作状態を表示します。



- ① 録画中表示
- ② 撮影経過時間表示*1
- ③ イベント録画状態表示*2
- ④ 駐車監視表示
- ⑤ 音声記録表示*3
- ⑥ GPS 受信状態表示*4
- ⑦ 電源状態表示
(): バッテリーモード (): 充電中)

※1 イベント録画中は表示されません。

※2 イベント録画中および手動イベント録画中に表示されます。

※3 オフに設定されていると赤い「\」が表示されます。

※4 GPS 信号を受信中は白色に表示され、信号を受信していないときは「×」表示されます。GPS アンテナが接続されていない場合は表示されません。

連続録画機能について

本機が起動すると自動的に録画を開始します。録画した映像は設定時間単位 (工場出荷時は3分間) で1ファイルとして「Video」フォルダーに保存され、microSD カードの容量が無くなると、古いファイルから上書きされます。

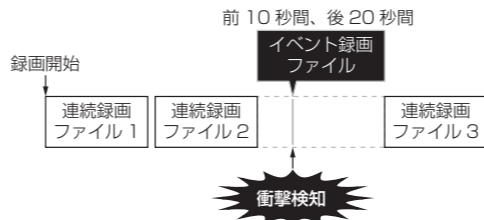
■ メモ

- 連続録画時間は変更することができます。
→ 「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」- 「録画ファイル時間」
- 下記の場合に連続録画を停止します。
 - イベント録画中の場合
 - MENU 画面を表示している場合
 - 電源供給が停止された場合
 - 駐車監視機能が起動した場合
 - SD カードに関するエラーが発生した場合
- 録画時間は状況によって変更になる場合があります。

イベント録画機能について

■ 衝撃を検知して自動で撮影 (イベント録画)

他の車との接触事故が発生した場合など、本機が衝撃を検知した時点から前10秒間、後20秒間が自動的にイベント録画ファイルとして「Event」フォルダーに保存されます。



イベント録画終了後は、ふたたび連続録画 (工場出荷時は3分間) が開始されます。

■ 手動で撮影 (手動イベント録画)

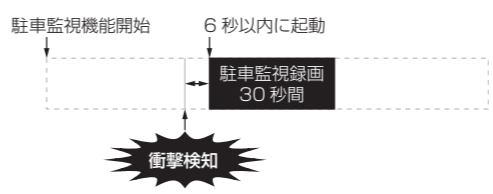
連続録画中にファンクションボタンの を押しと、押した時点から前10秒間、後20秒間がイベント録画ファイルとして「Event」フォルダーに保存されます。

■ メモ

- 衝撃を検知する感度を調節またはイベント録画機能を OFF できます。
→ 「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」- 「振動検知感度 (イベント)」
- 録画時間は状況によって変更になる場合があります。

駐車監視機能について

本機への電源供給が止まる (ACC OFF : 車のエンジンオフ) と、「ACC OFF 後の動作設定」で「すぐにシャットダウン」を設定している場合に駐車監視機能が動作します。最大動作時間は約30日間です。駐車監視機能動作中に振動を本機が検知すると、約6秒以内に起動し、その後30秒間が駐車監視ファイルとして「Parking」フォルダーに保存されます。ACC OFF 後3分、ACC ON 前3分に検知された振動については、次回起動時のお知らせメッセージ表示を行いません。



駐車監視録画終了後は、ふたたび駐車監視機能が開始されます。

■ メモ

- 駐車監視機能の最大動作時間は内蔵バッテリーの残量によって異なります。
- 駐車監視中の振動を検知する感度は調節できます。また、駐車監視機能を OFF にすることもできます。→ 「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」- 「振動検知感度 (駐車監視)」
- 「ACC OFF 後の動作設定」で「連続録画を継続」を設定している場合：
 - 駐車監視機能は動作しません。
 - モニター表示は OFF になります。
 - お知らせメッセージは対象外です。→ 「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」- 「ACC OFF 後の動作設定」
- 駐車監視中に衝撃検知後の駐車監視録画について動画の録画開始直後は映像が乱れる場合があります。
- 録画時間は状況によって変更になる場合があります。

写真撮影機能について

連続録画中またはイベント録画中にファンクションボタンの を押しと、写真が撮れます。

撮影したファイルを再生する

撮影した動画ファイルの再生や写真ファイルの表示ができます。

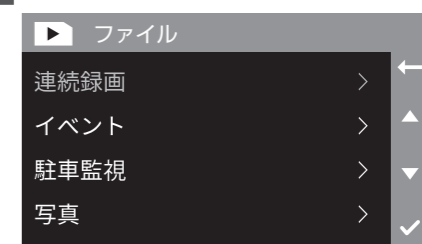
1 ファンクションボタンの を押しとメインメニューを開きます

以降表示される各画面において、約30秒間何も操作が行われなかった場合は、自動的に録画中画面に戻ります。

2 ファンクションボタンの / を押しと [ファイル] を選び、 を押しと



3 ファンクションボタンの / を押しとフォルダーを選び、 を押しと



選んだフォルダー内のファイルをサムネイル表示します。

4 ファンクションボタンの / を押しとファイルを選び、 を押しと



5 ファンクションボタンの を押しと

選んだファイルを再生します。



■ メモ

- ファンクションボタンの を押しと、直前の画面に戻ります。
- 再生中にファンクションボタンの を押しと、一時停止します。 を押しと、再生を再開します。
- 再生中にファンクションボタンの を押しと、早送りします。
- ファンクションボタンの を押しと、以下のファイルを削除します。
 - 動画: フロント、リア2カメラの同時刻の録画ファイル
 - 写真: 選択中のファイル

ドライブレコーダーの設定

必ず安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。

本機に関する設定が行えます。また、設定内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。この他、microSD カードのフォーマットや本機のバージョン情報を確認することもできます。MENU 画面表示中は、連続録画機能が停止しますのでご注意ください。

1 ファンクションボタンの **⏏** を押してメインメニューを開きます

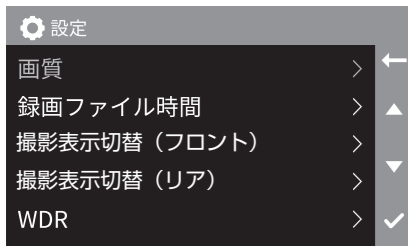
以降表示される各画面において、約 30 秒間何も操作が行われなかった場合は、自動的に録画中画面に戻ります。

2 ファンクションボタンの **⏏** / **⏏** を押して [設定] を選び、**✔** を押し

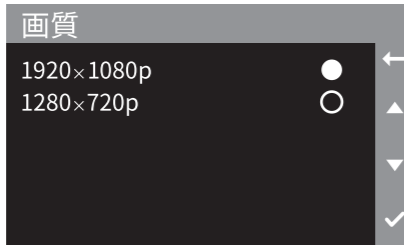
[設定] を選んだ場合を例に説明します。



3 ファンクションボタンの **⏏** / **⏏** を押して設定項目を選び、**✔** を押し



4 ファンクションボタンの **⏏** / **⏏** を押して設定値を選び、**✔** を押し



設定が完了し、前画面に戻ります。

メモ

- 手順 2 ~ 4 の画面でファンクションボタンの **⏏** を押すと、直前の画面に戻ります。

設定できる機能

設定項目	設定内容	工場出荷時の設定値
画質	動画撮影時の画質を設定できます。	1920 × 1080p
録画ファイル時間	連続録画機能の 1 ファイルあたりの録画時間を設定できます。	3 分
撮影表示切替 (フロント) *1	フロントカメラの映像を水平、上下、または水平 + 上下方向に反転して表示できます。	デフォルト
撮影表示切替 (リア) *1	リアカメラの映像を水平、上下、または水平 + 上下方向に反転して表示できます。	デフォルト
WDR (Wide Dynamic Range)	明暗の差が大きい状況などで、自動で調整を行う機能の設定ができます。	ON
露出補正 (フロント)	フロントカメラの動画撮影時の露出を設定できます。	0
露出補正 (リア)	リアカメラの動画撮影時の露出を設定できます。	0
マイクミュート	動画撮影中に本機周辺の音声も記録する / しないを設定できます。	OFF
システム音量	操作音および再生音量の設定ができます。OFF に設定することもできます。	レベル 4
振動検知感度 (イベント)	イベント録画を開始するときの、振動や衝撃を検知する感度の設定およびイベント録画機能を OFF することができます。	レベル 3
振動検知感度 (駐車監視)	駐車監視録画を開始するときの、振動や衝撃を検知する感度の設定および駐車監視機能を OFF することができます。	レベル 3
ACC OFF 後の動作設定	本機への電源供給が停止してからの動作を設定できます。駐車監視機能または内蔵バッテリーが切れるまで連続録画が継続されます。	すぐにシャットダウン
モニター表示設定 *2	スリープに入る時間を設定できます。設定メニューを表示しているときに、録画ファイルを再生または写真を表示しているときは、本設定に関わらずスリープはしません。	10 秒後にモニター OFF
手動日時設定	時刻を手動で設定できます。	2019/11/01
SD カード領域	SD カード領域を変更できます。	79% 10% 10% 1%
言語設定	画面に表示する言語を設定できます。	日本語
SD カードフォーマット	microSD カード内のすべてのファイルを削除できます。*3	—
工場出荷状態に戻す	設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。	—
バージョン	本機のファームウェアのバージョン情報を確認できます。	—

※ 1 microSD カードに保存される録画映像も反転した状態のままとなります。

※ 2 ACC OFF 後の動作中は、本設定に関わらずモニター表示はオフになります。

※ 3 microSD カードに何らかの問題がある場合、警告音と共に「No SD Card」等の警告が表示され、録画が停止します。

録画時間および枚数の目安

下表は、「SD カード領域」の設定に応じた各動画の録画時間と写真枚数の目安であり、ご使用の microSD カードや被写体、撮影条件等により変動します。

「SD カード領域」の設定は以下のように表しています。

例：[79% 10% 10% 1%]

メモリーカード容量に対し、連続録画時間が 79%、イベント録画時間が 10%、駐車監視録画時間が 10%、写真枚数が 1% となります。

16 GB の場合の録画時間および写真枚数の目安

SD カード領域	解像度	連続録画	イベント録画	駐車監視録画	写真枚数
[59% 10% 30% 1%]	1080p	約 43 分	約 7 分	約 22 分	約 80 枚
	720p	約 1 時間 10 分	約 12 分	約 36 分	約 80 枚
[79% 10% 10% 1%]	1080p	約 1 時間	約 7 分	約 7 分	約 80 枚
	720p	約 1 時間 30 分	約 12 分	約 12 分	約 80 枚

128 GB の場合の録画時間および写真枚数の目安

SD カード領域	解像度	連続録画	イベント録画	駐車監視録画	写真枚数
[59% 10% 30% 1%]	1080p	約 5 時間 50 分	約 1 時間	約 3 時間	約 640 枚
	720p	約 9 時間 40 分	約 1 時間 30 分	約 5 時間	約 640 枚
[79% 10% 10% 1%]	1080p	約 7 時間 45 分	約 1 時間	約 1 時間	約 640 枚
	720p	約 13 時間	約 1 時間 30 分	約 1 時間 30 分	約 640 枚

メモ

- 録画時間は目安です。録画する風景等で異なります。

GPS について

- GPS 衛星 (人工衛星) から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムが GPS (Global Positioning System : グローバルポジショニングシステム) です。
- GPS 衛星信号は、固体物質 (ガラスを除く) を通過することができません。次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波がさえぎられて受信できないことがあります。
トンネルの中やビルの駐車場、2 層構造の高速道路の下、高層ビルの群集地帯、密集した樹木の間
- 準天頂衛星システム「みちびき」に対応しています。

商標・著作権など

- microSDHC、microSDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。



故障かな？と思ったら

修理に出す前に、下記内容をご確認ください。

症状	原因	対処
本体が正しく起動できない。起動するとシステムインジケータが赤点灯したままになっている。	フロントカメラまたはリアカメラが正しく接続されていない。	エンジンをオフ (ACC OFF) にし、フロントカメラ、リアカメラを正しく接続したらエンジンをオン (ACC ON) にしてください。
本機の表示や動作がおかしくなった。	本機のマイコンが誤動作を起こしている。	リセットボタンを押してください。リセットボタンを押しても起動しない場合は、手で本機の電源をオンにしてください。 →「 ドライブレコーダーの使いかた 」 - 「 本機の電源について 」 - 「 ■手動で電源をオン/オフする 」
記録されているはずのファイルが見当たらない。	microSD カード内の保存領域が不足になった場合、ファイルは古いものから順に上書き保存されています。	残しておきたい大切なファイルがある場合は、バックアップすることをお勧めします。 →「 撮影したファイルのバックアップ 」
車に乗るときや降りるときに、勝手に駐車監視ファイルが作られる。	ACC OFF 後の動作設定が「すぐにシャットダウン」になっている。	ACC OFF 後の動作設定を設定してください。 →「 ドライブレコーダーの設定 」の「 設定できる機能 」 - 「 ACC OFF 後の動作設定 」
駐車中に録画されたファイルに、異常のない映像が多い。	衝撃検知の感度が適切では無い可能性があります。	検知するセンサーの感度を調整してください。 →「 ドライブレコーダーの設定 」の「 設定できる機能 」 - 「 振動検知感度 (駐車監視) 」
駐車中に車をぶつけられたのに動画ファイルが作られていない。	衝撃検知の感度が適切では無い可能性があります。	検知するセンサーの感度を調整してください。 →「 ドライブレコーダーの設定 」の「 設定できる機能 」 - 「 振動検知感度 (イベント) 」
運転中に事故にあったが動画ファイルが作られていない。	衝撃検知の感度が適切では無い可能性があります。	音声記録の設定を再確認してください。 →「 ドライブレコーダーの設定 」の「 設定できる機能 」 - 「 マイクミュート 」
動画ファイルを再生しても、音声が鳴らない。	マイクミュートの設定が ON の可能性があります。	microSD カードをフォーマットするか、class10 以上、UHS-I 以上の microSD カードに交換してください。 microSD カードをフォーマットするとデータが消去されます。残しておきたいデータは、あらかじめパソコンにコピーしてください。
「SD カードのフォーマットが必要です。フォーマットしますか？」が表示された。	通信速度が遅い microSD カードを挿入した場合、または microSD カードとの通信エラー等が発生した場合のデータ保護機能です。	充電を行ってください。それでも改善しない場合は弊社修理窓口にご相談ください。
「新しいSDカード(class10以上、UHS-I以上)に交換してください。」が表示された。		
再生できないファイルがある。	内蔵バッテリーが劣化している可能性があります。	

仕様

記録媒体	microSDHC/microSDXC カード class10 以上、UHS-I 以上 (16 GB ~ 128 GB)
撮像素子	約 200 万画素 (車載用高感度 CMOS センサー)
記録画角	水平 120° 垂直 64° 対角 142°
F 値	F2.0
録画モード	1 920 × 1 080P / 1 280 × 720P
画像補正技術	WDR 機能
GPS	搭載 (準天頂衛星みちびき対応)
G センサー ^{*1}	3 軸 G センサー (イベント録画時: 6 段階のレベル設定可能 駐車監視時: 6 段階のレベル設定可能)
記録方式	連続録画 / イベント録画 / 手動イベント録画 / 駐車監視録画
録画ファイル構成	1 分 / 3 分 / 5 分
ディスプレイ	3.0 インチ液晶
音声録音	ON/OFF 可能
フレームレート	27.5 fps
画像圧縮方式	動画 MP4 (H.264)、写真 JPG (1920x1080)
記録映像再生方式	パソコン用ビューアソフト「Driving Viewer」 ^{*2} など
電源電圧	DC 12/24 V (専用電源ケーブル付属)
電源ケーブル	電源 ギボシ端子形状
内蔵バッテリー容量	600 mAh
消費電力	約 5 W (充電時: 約 7 W)
動作温度	-10 °C ~ +60 °C
保証期間	お買い上げ日より 1 年
その他	動作確認用 microSDHC カード (16 GB) 同梱
本体外形寸法 (取付部除く)	92 mm × 57 mm × 29 mm (幅×高さ×奥行)
カメラ部外形寸法	30 mm × 30 mm × 41 mm (幅×高さ×奥行)
本体質量	180 g (本体ケーブル含む)
カメラ部質量	160 g (フロントカメラ、ブラケット、GPS アンテナ、ケーブル含む) 159 g (リアカメラ、ブラケット、ケーブル含む)
カメラ取付推奨角度	0° ~ 90°

*1 モニター部搭載

*2 弊社ホームページよりダウンロードが必要です。(Windows 専用)

リサイクルご協力をお願い

本品は小型家電リサイクル法の対象です。一般ごみとしての廃棄をしないでください。使用済の製品はお住いの自治体の指示に従って廃棄してください。使用済製品に含まれる貴重な資源の有効活用にご協力ください。